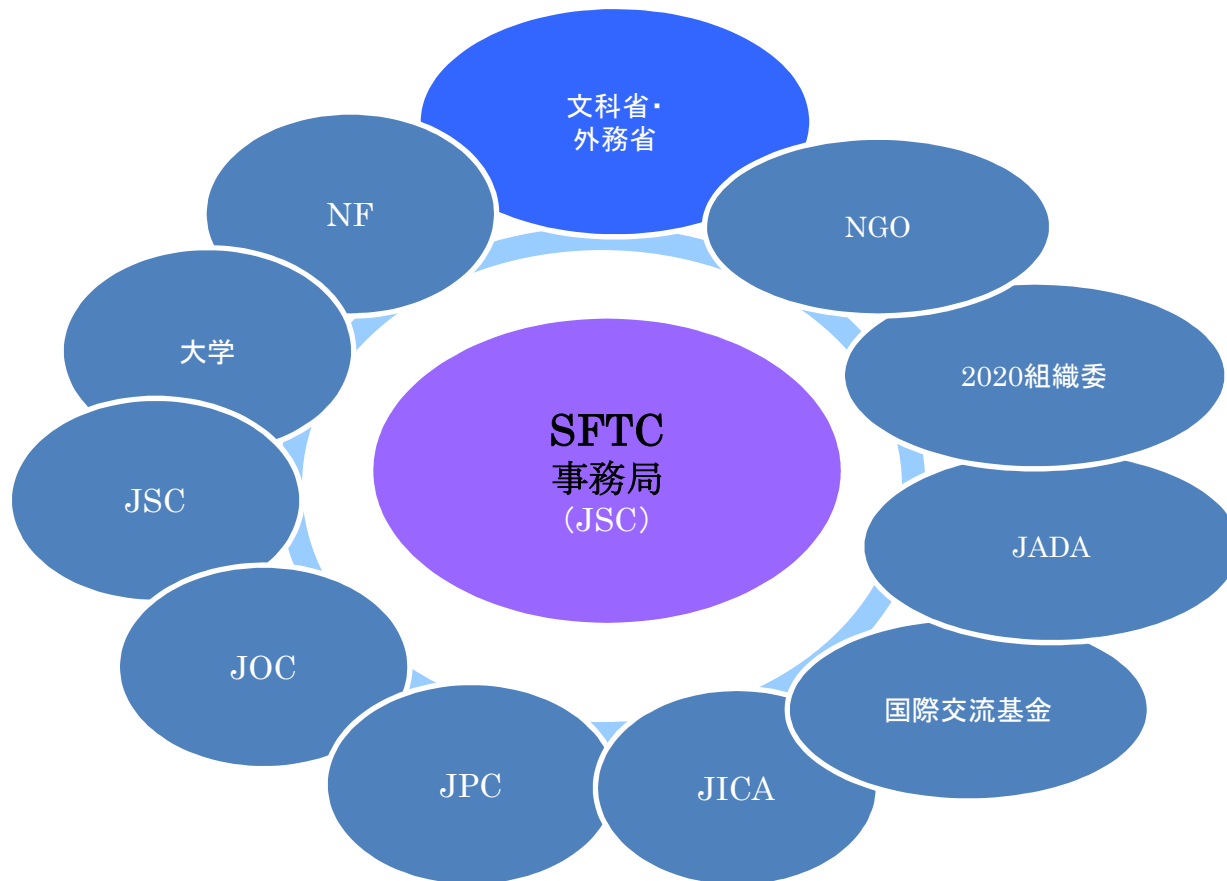


スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムについて

○目的

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム(以下「SFTC」という。)は、行政機関、関係団体、大学等が保有している知見の交換、情報ネットワークやデータベースの構築などにおける各機関の連携協力を促進し、国際社会にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを目的とする。



○活動

SFTCは、前条の目的を達成するために、スポーツを通じた国際貢献に関する次の活動を行う。

- (1) SFTCメンバーのネットワーク形成・連携調整に関すること。
 - ・会員の連絡調整会議の開催
 - ・スポーツを通じた国際貢献に関するニーズ収集・分析・連携調整
 - ・国際貢献事業にかかる計画調整・実施
 - ・国際関係機関との連絡調整
- (2) ネットワークを活用した情報収集・分析・提供(情報共有)に関すること。
 - ・現地情報、関係機関のカウンターパートからの情報の収集
 - ・各国情報のデータベース化
- (3) 調査研究に関すること。
 - ・英国等の事例研究・分析
- (4) 事業効果の向上方策の検討に関すること。
 - ・SFT認証(WEBサイト、ロゴ・ステッカー等)
 - ・国内外に向けたSFT情報発信及び普及
- (5) その他、SFTCの目的に資すること。

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムについて

○会員

- ・ SFTCの趣旨に賛同するスポーツ国際貢献に携わる団体、大学等、又はそれらを支援する団体等。
- ・ 会員は、SFTCの行う活動に参加し、SFTCからスポーツ国際貢献に関する情報等を受けることができる。
- ・ 会員は、スポーツ国際貢献に関して自らが持つ情報をSFTCに提供するように努める。
- ・ 入会を希望する団体は、所定の入会申込書を提出し、運営委員会の承認を受ける。なお、SFTCの会費は無料。

○運営委員会

- ・ 文部科学省
- ・ 外務省
- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センター
- ・ 独立行政法人国際協力機構
- ・ 独立行政法人国際交流基金
- ・ 公益財団法人日本オリンピック委員会
- ・ 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会
- ・ 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
- ・ 国立大学法人筑波大学
- ・ 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会